

| | | |
|---|--|--|
| 企画名 | 大堀川水辺公園散策～手賀沼へ | |
| 実施団体 | 団体名 せっけんの街 流山運営委員会 問合せ先 浜 たづ子 TEL: 04-7146-2851 Email: oryz1885@hyper.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.sekkenomachi.org/ | |
| 目的 | 流山市を流れる大堀川を水辺公園まで散策案内し、流入する手賀沼の水質の現状と課題を解説いただいて、暮らしと水について考えてみたいと思います。 | |
| 日時 | 2018年4月22日(日) 10:15～15:00 | |
| プログラム・概要・ルート等 | 10:15 TX 流山おおたかの森駅 集合 10:20 市野谷の森&市野谷水鳥の池を車窓から見学 10:40 大堀川調節池から水辺公園へ解説と散策 大堀川美しい水辺づくりの会理事長 恵良好敏氏 11:50 マイクロバスにて手賀沼へ 12:30 手賀沼親水広場にて手賀沼の「現状と課題」 美しい手賀沼を愛する市民の連合会会長 八楯雅子氏 昼食&自由行動 13:30 集合 14:10 手賀沼せっけん工場見学 15:30 TX 流山おおたかの森駅東口 解散 | |
| 参加対象 | 流山市と周辺自治体の市民 | |
| 参加人数 | 一般参加 17名 (大人15名、幼児1名、小学1名) 会員スタッフ 8名 (会員4名、講師2名、環境政策課2名) | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>市野谷の森</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大堀川調節池</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>恵良さんの説明を聞く参加者</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(左) 手賀沼せっけん工場で釜を見学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(右) 交流スペースでせっけん運動の歴史を学習</p> </div> </div> | | |
| 参加者や実施団体の感想 | 昨秋、雨で中止になった企画の再挑戦でしたので、天候が気がかりでしたが、新緑の水辺散策には恵まれた天候となりました。 大堀川の美しい水辺づくりの会会員の方も参加されていて、川の流れや、防災調節池の監視システム、植栽のお話など自然観察とは違った側面を知ることができたと喜んでいただきました。手賀沼では、浄化が進んではいるが、外来種のナガエツルノゲイトウなどが繁殖し駆除に苦心していることなどを知りました。 | |

| | | | |
|---------------|---|--|--|
| 企画名 | 鳥の博物館見学と船上から手賀沼の実態を知ろう！ | | |
| 実施団体 | 団体名 流山市立博物館友の会 問合せ先 小島 隆 TEL： 04-7146-7203 Email： tony.kojima@fg7.so-net.ne.jp ホームページ： http://hakubutukan-tomonokai.blogspot.jp/ | | |
| 目的 | 相原正義講師の講義を船上から聴きながら手賀沼の実態を知って貰うため。 | | |
| 日時 | 2018年9月12日（水）9：30～12：15 | | |
| プログラム・概要・ルート等 | 9:00 我孫子駅改札口に集合 - 徒歩 - 9:55 手賀沼の小池(ボート) 10:00 遊覧船(向陽丸)出航 - 船上講座 - 11:00 親水広場下船 11:15 鳥の博物館見学 12:15 鳥の博物館にて解散 | | |
| 参加対象 | 流山市民 | | |
| 参加人数 | 一般参加 26名（大人26名） 会員スタッフ 4名（会員3名、講師1名） | | |
| |  <p>講義される相原講師</p> |  <p>熱心に耳を傾ける参加者</p> |  <p>岸辺に繁茂する外来植物</p> |
| |  <p>鳥の博物館</p> |  <p>見学風景</p> |  <p>鳥のしくみを聴く参加者</p> |
| 参加者や実施団体の感想 | 26名の参加者の内23名からアンケートをいただきその一部を紹介します。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師が本当によく知っていて初めて聞くことが多く、ためになった。また、沼の様々な問題が、昔も今も色々あって簡単に解決できる問題ではないと、よくわかった。 ・初めての参加ですが、大変勉強になりました。 ・ハスや外来種の繁茂にはがっかりした。 ・素晴らしい企画をありがとうございました。 | | |

| | |
|--|--|
| <p>企画名</p> | <p style="text-align: center;">手賀沼もつと知ろう！ Part1 手賀沼に入る川の水調べと手賀沼船上見学、魚調べ</p> |
| <p>実施団体</p> | <p>団体名 手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会 問合せ先 中岡 丈恵 TEL&FAX： 047-385-8950 Email： naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp</p> |
| <p>目的</p> | <p>松戸市内に手賀沼流域の地域があることを知らせ、そこに流れる大津川（排水）を調べ、手賀沼で船に乗り沼を知る。汚染と浄化を考える一歩とする。</p> |
| <p>日時</p> | <p>2018年7月21日（土）9：00～17：00</p> |
| <p>プログラム・概要・ルート等</p> | <p>9：00 集合・六実市民センター別館3階第二会議室・水調べの説明 9：40 マイクロバス乗車・出発 大津川支流と排水溝など各ポイントの観察・水質検査 12：20 昼食（鎌ヶ谷市北部公民館・学習室）12：30 六実と周辺の歴史を学ぶ 13：00 バス乗車・出発 14：00 船上見学（手賀沼公園から乗船）＊ 船内にて手賀沼の水とヘドロ検査 15：00 手賀沼の生き物調べ環境学習・どんな魚がいるのかな？ 手賀沼水生生物研究会の皆様のご協力です沼に網を入れて魚を取る方法を体験 参加者みんなで魚をケースに入れ、魚の生態を調べる 16：00 バスに乗車 16：40 六実市民センター到着・解散</p> |
| <p>参加対象</p> | <p>小学4年生以上 保護者同伴</p> |
| <p>参加人数</p> | <p>一般参加 20名（大人9名、小学11名） 会員スタッフ 3名（会員1名、市職員2名）</p> |
| <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>水調べの説明</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ジェイソン脇水路の水調べ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>鎌ヶ谷西高校脇水路の水調べ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>手賀沼船上見学 透視度測定</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>五香単独浄化槽の家からの排水マンホールの水調べ</p> </div> </div> | |
| <p>参加者や実施団体の感想</p> | <p>参加者は、夏休みの自由研究の為に家族の方も熱心でした。手賀沼に流れる排水の仕組み家庭から流れている泡の有る排水が家のそばの小川から集まり大きな大津川へ行くと鳥や亀がいて、さらに手賀沼で船に乗ると船にぶつかるようにして泳ぐハクレンに歓声を揚げ、白鳥やカイツブリ、きれいなサギなどを見つけて船の中では賑やかでした。長い胴長を着て手賀沼に入り網を取り上げると様々な小さい魚が入り先生が種類を教えてくださいました。参加の姉妹、兄弟など小学校低学年や幼稚園生も 33度の暑さにめげずポイントとポイント間をよく歩いて調べたことを記入していました。おばあちゃん先生をきづかってくれました。</p> |

| | |
|--|---|
| 企画名 | 手賀沼もっと知ろう！ Part2 学習会「生きてる水、死んでる水」 |
| 実施団体 | 団体名 手賀沼流域フォーラム松戸実行委員会 問合せ先 中岡 丈恵 TEL&FAX： 047-385-8950 Email： naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp |
| 目的 | 手賀沼に流れる水の汚染と浄化を考える1歩とする。水のことを学ぶ・市内の河川の水調べで状況を知らせる。手賀沼に関心を持つ人を広げる。 |
| 日時 | 2018年8月4日（土）13：00～17：00 まつど市民活動サポートセンター 大会議室 |
| プログラム・概要・ルート等 | 講師・瀧和夫先生・千葉工業大学・名誉教授 「水のことを学ぶ」 生きている水は死んだりするのだろうか！ 私たちが触れ、親しむ水はどのような水であろうか。 下記の河川の生活排水などいろいろな水について実験を通して調べた。 ・飲み水・排水された水を、透視度計を使い、目で透明度を見て濁りを調べた。 ・松戸市内～流れる川 神崎川の支流 松戸市～船橋市～印旛沼に入る。 真間川 松戸市～市川市を通過して東京湾に注ぐ。 大津川 松戸市～鎌ヶ谷市～柏市(元沼南町)を通過して手賀沼に注ぐ。 ・手賀沼の水ー手賀沼公園前の沼の水を比べた。 ・水のPHや濁りの程度を測り比べた。 ・洗剤・水の中の酸素を見た。 学校に提出するまとめの作業は学生が1名だったので水調べをした。 |
| 参加対象 | 小学4年生以上と保護者・成人 |
| 参加人数 | 一般参加 13名（大人7名、小学3名、高校3名） 会員スタッフ6名（会員4名、講師1名、手伝い1名） |
|  | |
| 参加者や実施団体の感想 | <p>参加者から【竹澤優香・専修大学松戸高校2年】 沼とか川によって全然成分とかPHとかがちがうんだなあと、汚いって言うと泥とかへドロとかのイメージがありましたが見えない化学物質と微生物がいたりして、一時期よりはきれいになったと言っても、昔よりは安心できないのかなあと思いました。もつと沢山の人が興味を持ってくれたらいいなあと思いました。</p> <p>【山崎恵・受付担当・松戸市民活動企画夏休みレッツ体験参加の学生（5年目）】 紫キャベツで、PH調査ができることにとても驚きました。他にもアントシアニンが入った植物等は指示薬になると知り、身近な植物でPH検査ができることで、色々可能性があるなと思いました。松戸の河川はどこも清廉とは言い難く、自然・生き物が暮らしかから離れてしまっていることに危機感を感じます。自然を「知る」ことが身近になるといいですね。綿々と続けられている水質調査、敬意を表します。</p> |

| | | | |
|--|--|---|---|
| 企画名 | 竹炭・華炭を焼こう～間伐した竹を使って～ | | |
| 実施団体 | 団体名 栗野の森の会 問合せ先 代表 小出 達雄 TEL: 080-6587-5269 Email: tatutojun@ozzio.jp | | |
| 目的 | 低湿地や川辺までどんどん増えているマダケを間伐し、燃料や炭にして、炭の効果（水の浄化など）を知らせる。 | | |
| 日時 | 2018年12月1日（土）9：30～12：00 | | |
| プログラム・概要・ルート等 | （炭材） ①間伐したマダケ ②テーダマツ ③ヤブツバキ ④モミジバフウ ⑤ハス ⑥クリ | （燃料） ①間伐した枯れたマダケ ②森で拾い集めるスギの落ち枝など （前日に会員が準備） | （手順） ①6グループに分け、それぞれ一斗缶に新聞紙や枯枝を使って火をつける。 ②炭材缶につめ、煙をみながら強火で蒸し焼きにする。 ③煙が出なくなった缶が冷めてから、炭になったものを取り出す。 ④籠に盛りつけてお持ち帰り。 |
| 参加対象 | どなたでも（小学生以下は保護者同伴） | | |
| 参加人数 | 一般参加19名（大人11名、子ども8名） 会員スタッフ13名（会員10名、市職員3名） | | |
|  <p>①始めに、やり方、注意事項をしっかりと聞いています。</p>  <p>④交替で休憩中。冷たい麦茶とお菓子で。</p> |  <p>②さあ、スタート！ どんどん燃やすよ。</p>  <p>⑤籠に中敷きを入れて、完成を待ちます。飾りの赤唐辛子も用意。</p> |  <p>③長トングと保護めがねがあれば、私だって大丈夫。</p>  <p>⑥完成しました。</p> | |
| 参加者や実施団体の感想 | 初めて落ち枝を燃やすという方が多く、火力を強火に維持するため夢中で燃やし続けた約1時間半でした。こんな缶で、こんな短時間で炭になるなんてクリのイガがそのまま炭になるなんて…。缶のふたをあけ、煙の中から見えてきた完成した炭を見て、皆さんおどろきの声を上げていました。どのグループも6種類の炭が見事に完成しました。子ども達の喜ぶ姿・昔のことを思い出しますとの声…、とても良い会だと思いました。 | | |